

令和6年度 第4回 門真市総合計画審議会 議事録

○日時	令和6年11月11日（月）午後4時00分～午後4時45分	
○場所	門真中町ビル3階 多目的ホール	
○出席者	橋爪 紳也	委員（大阪公立大学研究推進機構特別教授）
	森末 尚孝	委員（進陽法律事務所弁護士）
	青瀧 博文	委員（関西テレビ放送株式会社コンプライアンス推進局 放送倫理・考査部長）
	岡田 進一	委員（大阪公立大学大学院生活科学研究科教授）
	田中 豊	委員（パナソニック オペレーショナルエクセ レンス株式会社総務センター総務部部長）
	中村 浩一郎	委員（株式会社三井住友銀行公務法人営業第二部 公務法人営業第二部長）
	西川 覚	委員（一般社団法人門真市医師会）
	松宮 新吾	委員（追手門学院大学国際学部教授）
	山上 起男	委員（ソフトバンク株式会社公共事業推進本部 第二事業統括部自治体DX推進本部DX 推進二課担当課長）
	篠永 幸恵	委員（公募市民）
	高橋 敏夫	委員（公募市民）
	中吉 美智	委員（公募市民）
	谷掛 千里	委員（大阪府守口保健所長）
	山田 幸彦	委員（守口市門真市消防組合消防本部 消防長）
○事務局	企画財政部長	大矢 宏幸
	企画財政部次長	北井 孝代
	企画財政部企画課長	船木 慎二
	企画財政部企画課課長補佐	松本 雄一
	企画財政部企画課主査	濱岡 大祐
	企画財政部企画課主査	牧野 陽
	企画財政部企画課主査	岸 ケニー龍之介

1 開会

司会

本日はご多忙の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。
。司会を務めます、企画財政部企画課長の船木と申します。

定刻になりましたので、ただいまから第4回門真市総合計画審議会を開催いたします。

本日は、委員18名中14名がご出席いただいております、門真市総合

計画審議会規則第5条第2項の規定により、会議が成立していることをご報告いたします。

本日、玉野委員、若林委員、鷺見委員、渡邊委員は、都合がつかませず、ご欠席でございます。

なお、後日、議事録を作成させていただくために、会議の模様を録音させていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それでは、本日の資料を確認させていただきます。

資料は

- 1点目 会議次第
- 2点目 資料1 門真市第6次総合計画改訂版（案）に係るパブリックコメント結果について
- 3点目 資料2 第3回門真市総合計画審議会での主な意見と対応
- 4点目 資料3 門真市第6次総合計画改訂版（案）の答申書（案）
- 5点目 資料4 令和6年度門真市総合計画審議会委員名簿
- 6点目 参考資料1 門真市第6次総合計画総括（令和2年度～令和6年度）（案）

7点目 別冊 門真市第6次総合計画改訂版（案）

の7点ですが、紙資料として、第6次総合計画の冊子をお配りしておりますので、計8点でございます。

資料につきましては、後ほど順次、議事進行の中で使用いたします。

もし、不足の資料がございましたら、お申し出ください。

本日の案件は、「門真市第6次総合計画改訂版（案）に係るパブリックコメントの結果について」、「門真市第6次総合計画改訂版（案）の答申書（案）について」の2件であります。

それでは、以後の議事進行につきましては、橋爪会長より次第に沿って順次進めていただきます。

橋爪会長よろしくお願いたします。

2 議事

案件1 門真市第6次総合計画改訂版（案）に係るパブリックコメントの結果について

会長

それでは、議事次第にしたがって進めてまいりたいと思います。まず、案件1「門真市第6次総合計画改訂版（案）に係るパブリックコメントの結果について」であります。事務局より説明願います。

事務局

企画課課長補佐の松本でございます。

お手元の資料1をご覧ください。

門真市第6次総合計画改訂版（案）について、令和6年10月4日から10月25日までの期間でパブリックコメント手続を実施しました。

計画案は、市ホームページに掲載のほか、企画課、市情報コーナー、市内公共施設に意見箱とともに設置し、またLogoフォームを活用することで、Web上からの意見提出も可能としました。

パブリックコメントを実施した結果、受付した意見は1件でございます。

ご意見に対する考え方について、ご説明させていただきます。

資料1の1ページから4ページに記載しているご意見の1番につきまして、意見内容ごとに①から⑤の5つに分けて考え方を記載しております。

1ページをご覧ください。

①について、市政に対する要望と捉え、ご意見を受けての計画案の修正は行いませんが、提出されたご意見は、今後、施策を検討していく際の参考意見として取り扱いさせていただくこととしております。

次に2ページをご覧ください。

②の産業施設や田畑に関するご意見について、本市の基幹産業である、ものづくり産業の更なる活性化を図るため、操業環境の維持と新たな産業用地の確保は必要と考えております。一方、門真れんこんや、くわいなど本市の特産物を中心とした保全に努めており、引き続き、現在の取組を継続していくとしております。

3ページをご覧ください。

③について、市政に対する要望と捉え、ご意見を受けての計画案の修正は行いませんが、提出されたご意見は、今後、施策を検討していく際の参考意見として取り扱いさせていただくこととしております。

④について、第二京阪道路、国道163号、近畿自動車道などのエリアにおける騒音、排気ガスによる有害ガスによる喘息の発生、悪化など、公害対策が十分でないとのこと意見につきまして、第二

京阪道路供用開始後から実施している大気環境監視測定において、二酸化窒素、浮遊粒子状物質及び騒音のすべての測定項目で環境基準を満たしており、今後においても、生活環境に関する状況把握に努めていくとしております。

また、産業施設や田畑に関するご意見については、②のとおりとしております。

4ページをご覧ください。

⑤について、市政に対する要望と捉え、ご意見を受けての計画案の修正は行いませんが、提出されたご意見は、今後、施策を検討していく際の参考意見として取り扱いさせていただくこととしております。

説明は以上でございます。

会長 事務局からの説明は終わりました。ただ今の説明に関して、ご意見、ご質問のある方は挙手願います。

一同 意見なし。

会長 よろしいでしょうか。パブリックコメント結果の報告ということで、1件の意見があったということですが、特段ご意見がなければ、「門真市第6次総合計画改訂版（案）に係るパブリックコメントの結果」については、事務局案のとおり対応したいと思います。よろしいでしょうか。

一同 異議なし。

会長 ありがとうございます。ご意見がないということで、事務局案のとおり対応したいと思います。

案件2 門真市第6次総合計画改訂版（案）の答申書（案）について

会長 次に、案件2「門真市第6次総合計画改訂版（案）の答申書（案）」について、事務局から説明をお願いします。

事務局 お手元の資料2をご覧ください。

令和6年9月30日に開催しました第3回総合計画審議会でのご意見や審議会当日はご欠席されておりました委員のみなさまよりいただきましたご意見と対応について、まとめたものになります

。 1番について、「第3部 基本計画」の「基本計画各論」、「第1章 子育て分野」の「第1節 みんなで支え合う子育て環境づくり」の「(3) 実施方針」の「2番 地域子育て支援の充実」の記載について、「多世代交流に関する記載は残していただきたい。」とのご意見に対し、「また、子育て世帯の親子が気軽に集い、親や子ども同士」の後に「地域住民等」を追記しております。

2番について、基本計画各論の「第8章 地域振興分野」の「第3節 安全・安心な暮らしを支える体制づくり」の「本市の状況」の記載で、現状のままでは「こころの相談」がワンストップ対応と市民に誤解を与えかねない表現になっている、とのご意見に対し、誤解を招かないよう修正後欄のとおり修正しております。

3番について、基本計画各論の「第11章 危機管理分野」の「第1節 危機管理と災害時対策」の「施策をとりまく社会状況」で「南海トラフ巨大地震に対する平時の備え」と記載されているが、門真市においては、上町断層帯地震や生駒断層帯地震も建物被害や人的被害が多く推計されているので、それらも含め対応準備等を考えておく必要があるとのご意見に対し、修正後欄のとおり修正しております。

続いて、別冊の総合計画改訂版（案）をご覧ください。

総合計画改訂版（案）に関する第3回審議会以降の修正点として、資料3の内容を反映しているほか、文意が変わらない範囲で文言の微修正を実施しておりますので、ご報告いたします。

また、前回の審議会において、委員よりご意見のありました、「施策の成果を測る指標」の目標値設定に関する考え方につきまして、第6次総合計画策定時に、市民意識調査の満足度を指標とするものについては、最終的には100%になることを目指したいと考えている中で、10年後は少なくとも50%を超えることを一定の目標としたいとの考えから、一律で「現状値÷2+50%」という設定の方法をしております。

委員からのご指摘でもありましたが、市民意識に係る指標は、なかなか上げることが難しいと理解しておりますが、改訂版は、策定当初の考え方を踏襲した目標値の設定とさせていただきたいと考えており、案のとおりとさせていただいております。

次に、参考資料1をご覧ください。

第3回審議会において、委員より、令和2年度から令和6年度までの前半期間に係る総括についてご意見いただきましたので、基本計画の基本施策ごとに総括シートを作成しております。こち

らにつきましては今後、市のホームページで公表する予定にしております。

次に、資料3をご覧ください。

答申書(案)になりますが、答申書の方向としては、本日までの審議の中で、門真市総合計画審議会として、お手元の別冊の総合計画改訂版(案)を適当と判断し、門真市長に答申するものであります。

なお、本計画の推進にあたっては、当審議会の審議過程で述べられた意見や要望に十分配慮されるとともに、計画に示される施策について着実に実行されることを要望するものであります。

説明は以上でございます。

会長

事務局からの説明は終わりました。

前回のご意見及び欠席された委員のご意見を踏まえて、このように対応するとのことでございます。

前回ご意見を出された委員の方、ご意見はありますか。

委員

きれいにまとめていただき、良かったと思います。ぜひこれを公開していただければと思います。

ただ、一点、37ページ「危機管理」の「火災発生件数」の目標値が6,000件となっていますが、これは誤りであると思いますので、修正をお願いしたいと思います。

事務局

申し訳ございません。確認し、修正いたします。

会長

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

一同

意見なし。

会長

よろしいでしょうか。特にご意見、ご質問はないかと思っておりますので、答申書(案)については、事務局原案のとおりとしたいと思います。ありがとうございます。

一同

異議なし。

会長

ありがとうございます。ご異議がないようですので、引き続き、次第2の「答申」へ進めさせていただきます。

なお、準備がございますので、しばらくの間お待ち願います。

最後の審議会ということで、せっかくですので、この間に委員の皆様一言ずつご感想などをいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、副会長からよろしいですか。

副会長

門真市だけでなく、人口減少を前提とせざるを得ない状況ですが、人口が減少する中で、市あるいは地域がどう変わっていくかを考えていかないといけないかなど。門真市という単位でいま考えていますけど、本当にその単位でいいのかどうか、ここで議論すべきものではないですけども、もっと大きい単位で行政を行うこともいずれは考えていかないといけないのではないのかと感じました。

委員

私自身は高齢者福祉の専門家ですが、門真市では子どもを中心とした施策の展開をやっていかれるという中で、人に対してどう投資していくかは、これからの人口減少の中で日本が発展していくために非常に重要な施策の一つだと思います。それを門真市が中心となってやられていくのは重要なことだと思っておりますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。

委員

私自身、京阪沿線の枚方で社会人生活をスタートさせ、寝屋川に寮があり、門真に同期が配属されたという中で、ずっと関心の高い自治体であり、このような節目で計画に関わらせていただき、ありがたかったなと思っています。

市民の皆様の声을丁寧拾われていて、それを基に議論させていただいて、門真市らしい形で着地できたのはよかったのではないかなと思います。環境の変化はまだこれからも続いていくわけですけども、ここで決めたことを柔軟に変化させる中で、果たせる役割もあるかと思うので、引き続き連携させていただければと思います。

委員

教育委員会の教育委員の一人として、仕事の関係もあり教育関係を中心に関わらせていただきました。

また、審議会の委員の一人として、参加できたことは光栄に思っております。先ほどもお話ありましたが、人口減少に伴って児童生徒の数が減ってくる、そして適正配置という言葉で学校の統廃合が行われていくという、学校そのものが地域の重要な財産であり、ひとつのキーステーションとなるものという風に捉え

て、単に全国の学力調査の結果だけでなく、人づくりというところにおいて、どういうことが提言できるかを考えてまいりました。

。 教員でもありますので、言葉にもこだわりながら、教育委員会の事務局と歩調を合わせてやってきたわけですけど、例えば、「力を育む」と書かれてますが、具体的にどんな力なのか。行政的にみてもみると、ぼんやりとさせるのはよくないのかもしれませんが、おおまかな、国が言う「生きる力」や「未来を切り拓く力」などに限定せず、「どんな場合においても対応することができる力」という言葉の幅が重要なことだと思いながら参加させていただきました。ありがとうございました。

委員

ずっと門真市に住んでおりましたが、あまり地域のことには関心がなかったんです。60歳で退職した後、民生委員と町会長をさせていただいておりました。最近、地域福祉や高齢者のことに関心を持って、今回こういう機会をいただいて勉強させていただきました。今後ともどうぞよろしくお願いします。

委員

市の総合計画策定に関わったのは初めてです。門真は健康指標がかなり悪い地域なので、健康づくりの計画では今までも意見を述べさせてもらっていました。総合計画にも反映した方がよいのではとご意見させていただきました。

総合計画案を拝見して本当に良い計画になっているなと思っています。総合計画の目標が達成できれば、門真がとても良いまちになって、市民が定住してくれるようになるのではと期待しています。会議に参加させていただき、ありがとうございました。

委員

守口市・門真市で40年間働いていますが、門真市はこの40年間で街並みが目まぐるしく変化していて、当時は大規模商業施設もなく、文化住宅の密集地や畑があるというところで、消防を取り巻く環境も以前と変わってきています。

人口は減少していますが、世帯数は増えてきているという、高齢者の一人暮らしも増えているので、救急・火災が増えているのが現状であり、私どもとしましても、引き続き、安心・安全なまちづくりを目指して、門真市とも連携しながら頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いします。

委員

審議会に参加できたこと、すごく光栄に思います。前回の審議会

も参加させていただいて、私は生まれてからずっと門真に住んでいます。完成した計画を拝見して、これからも門真に住み続けたいと思いました。またご縁があれば参加させていただきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

委員

私は生まれも育ちも門真ではなくて、門真に住み始めて8年くらいなので、門真についてよく分からない点もあるんですけど、外から見ると非常にイメージが悪いところで恐々引っ越してきたんですが、実際に住んでみるとそんなに悪いところではないし、歴史もあるし、人情味ある方たちも多いと感じるんですが、なぜこんなにイメージが悪いのか疑問に思っているところはあります。確かにイメージを崩す人が一部いるのかなとは思いますが、それを覆すほどいい人がたくさんいるのに、こういうイメージがついているのは残念だなと思います。

子どもたちが、ふるさとに誇りをもっている人が少なく、例えば、門真出身ということをはた隠しにしたり、成人したら門真の外に出たいという声を聞いたことがあるので、子どもたちがもう少し愛着を持てるようなまちになると、全体としてもよくなっていくだろうし、イメージも多少変わっていくだろうと思うので、見たくないところもあるかと思うんですが、そういうところもしっかりと見て、シティプロモーションを進めていただきたいなと思いました。

委員

みなさんも言うておられるように人口減少だとか少子化と言われていますが、これは門真市だけでなく、一部を除いて大半の自治体が直面していることだと思います。おそらく門真市単体で取り組める問題ではないですし、単体で何とかしようとするのはナンセンスなのだと思います。他の自治体もどうしていきべきか悩んでいるところですが、悩んでそこで終わっているという印象を持っています。協力してくれるところをいかに多く見つけるか、官民連携ではないですが、民間でも知恵を絞っているところもありますので、門真市単体で考えるのではなく、他の自治体でも民間企業でもよいので、手を取り合ってやっていければよいと思います。民間企業もしっかりと頑張っていきたいと思っていますので、またぜひご協力させていただければと思います。ありがとうございました。

委員

素晴らしい先生方のご意見が聞けて光栄でありました。2019年

の暮れからのパンデミックが直近にありましたので、その点を中心に、少し述べさせていただきます。

門真市には門真団地があり、中国から来られた方もたくさん住んでおられます。2019年の暮れに、武漢のニュースが入ってきたときから、門真市や保健所とも連携を取っていましたが、特に排斥もなく、非常に粛々とこの地域は過ごされていきました。門真市の職員の方々や保健所、関西医大の救急の方などがすごい力を発揮してくれました。

国家戦略としてインバウンドを進めていたり、また、万博などもあり、どんどん人が入ってくる中で、この地域はちゃんと対応できたということ、これからもちゃんとやっていきますよということは残しておきたいという気がしています。

また、次の世代にわたってという点では、PHRなどを中心とした情報化、医療DXを進めており、職員の方々も頭を悩ましながら次の計画を立てておられます。

根っこにあるのは、人が楽しく過ごせる力がこの地域にあるからだと思うので、それをもとに新しい門真に向かって協力していけたらと思っています。ありがとうございました。

委員

前回の第6次総合計画策定後はすぐにコロナ禍となり、前提が大きく変わってしまっていて、思うように事業が進まなかったかと思っています。弊社でも、コロナが始まってすぐに出勤制限をして、多くの方を在宅勤務に変えて活動を制限しましたが、その時にたまたまウェブ会議も含めて、かなりDXを使った活動が進みました。あれがなければ、ここまで一気に変わらなかつたらと思うと思います。

コロナが落ち着いて、ようやく出勤中心にシフトしていますが、昔に戻るのではなくて、入ったDXの技術を使って、違う形でも仕事ができればなと思っていますし、時期的にもたまたまみんながAIを使えるような状況になりつつありますので、ちょうどその活動が進化する段階なのかなと思っています。

そういう意味では今回の改訂版の実行フェーズについては、ぜひDXも活用いただいて、もっと良い門真市になればいいなと思っていますので、よろしく願いいたします。

委員

計画策定に参加させていただき、ありがとうございました。

現在小さい子どもの子育てをしているのですが、ありがたいなと思うのは周りにお年寄りがたくさんいらっしゃる事です。お

年寄りには本当にあったかい目で見てくださいるなと思います。門真市の課題の一つとして、若い世代で住み続けることを希望する人が少ないと、この会議で何度かお伺いしました。一方、もう一つ課題ではなく特徴として、高齢者が多いことがあります。見てくれる人が多いと言っているのかわかりませんが、計画の文言で多世代交流という文言にこだわっていたのがとてもよいことだと思いました。高齢者と若い世代を結び付ける何かの座組が必要なのでしょうけど、こういった特徴を活かしていけば、よりよい門真になっていくのではと思いました。関わった一人として市の発展を応援しておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

会長

従来、人口が増えているときの計画は立てやすかったのですが、人口減少期に入り、どのような未来を描くのかを考えるなかで、地域ごとの個性を出していくことが重視されています。政府が主唱するデジタル田園都市にも、同様の考え方が出てきていると思います。

客観的なデータだけでなく、市民の方々の思いを主観としてうまく受け止めながら、「住みやすい街」「働きやすい街」「暮らしやすい街」を考えていくのがこれからの方向性です。横並びではなくてもよいという部分はありますので、そのあたりの考え方が重要なのではと思っています。

もう一点は、門真市だけではありませんが、大阪の郊外にあって昭和40年代に面的に開発が短期間に進んだエリアでは、その時に開発された市街地をもう一度整理しながら、新たな街を作る段階に入っています。門真においても、再度の都市開発がうまくいかどうか、大きな課題になろうかと思っています。

大阪市の住宅審議会の部会長を務めていますが、大阪市は人口が増えています。従来は人口減少と予測していましたが、都心6区にタワーマンションが続々とできて、毎年、何千人と増えている状態です。大阪市内の周辺区も団地の更新などがあって、想定よりは減っていない状況にとどまっています。少し前まで大阪市も人口が減少していくであろうと予測した上で都心居住策を進めていましたが、それが当てはまらない状況になってしまっている。

門真にあっても、10年後、20年後を考えると、前提がわからないままに未来を想像しなければいけないという可能性があります。ただ従来のように右肩上がりですらないので足していくという方

向性ではないという点はあきらかでしょう。今回の計画策定においても強く意識していたところです。

ぜひ次の世代の希望が持てるような街にしていくということで、他の街との競争の中で、門真で住もう、暮らそうという方を増やせるような方向性ができればと思っております。

今回最後までご一緒できて幸いでございました。

以上で私の挨拶とさせていただきます。

3 答申

会長 それでは、準備が整ったようですので、次第の2「答申」について、事務局よりお願いします。

事務局 続きまして、次第2の答申に移らせていただきます。
答申書及び門真市第6次総合計画改訂版(案)につきまして、橋爪会長から宮本市長に答申をお願いいたします。

会長 答申書。門真市長 宮本 一孝 様。
門真市第6次総合計画(改訂版)について。
令和6年4月17日付け門企企第95号をもって諮問された「門真市第6次総合計画(改訂版)」の策定について、当審議会は4回の会議において、慎重に審議を重ね、当審議会の意見や指摘に対し修正も加えられた経過をふまえ、本案を適当と判断し、別添のとおり答申します。
なお、本計画の推進にあたっては、当審議会の審議過程で述べられた意見や要望に十分配慮されるとともに、計画に示される施策について着実に実行されることを要望します。
令和6年11月11日 門真市総合計画審議会 会長 橋爪 紳也。

(答申書及び総合計画改訂版(案) 手交)

4 市長挨拶

事務局 ここで、宮本市長から委員のみなさまにお礼のご挨拶がございます。

市長 お疲れ様でございました。
先ほど答申を頂戴しまして、4月17日に諮問させていただいて

から、計4回審議会を開催いただき、忌憚のないご意見をいただいたと思っております。

門真の課題は非常にたくさんあります。ある意味では、これから日本が抱えていく先進的な課題を事前に持っている部分もあるのかなと思っています。ただ、先ほど会長からもありましたように、1960年代に人口急増が起こり、この時に得たエネルギーや良さがひずんできて、良かった分だけ急激に悪くなってしまったということかと感じています。人口の上がり下がりの変化に、ある程度緩やかな変化であれば対応できますが、急激な変化に行政はなかなか対応できないので、難しいところであるなと思っております。

本来このエリアが持つポテンシャル、立地の強みは十分にあり、それを活かしながら、まちづくりだけでなく、福祉・教育など様々な観点から包括的に地域づくりをしていければと思っているところです。

今般頂いたご意見を十分に活かしながら、門真の発展に精一杯努めてまいりたいと思っておりますので、よろしくようお願い申し上げます。御礼の言葉とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

5 その他

会長 ありがとうございました。

次に、次第4の「その他」に移らせていただきます。事務局より何かありますか。

事務局 今回、委員の皆様のご審議を賜り、答申を頂くことができました。改めて事務局一同、お礼申し上げます。

門真市第6次総合計画改訂版につきましては、今回頂きました答申をもとに、基本構想については12月に開催予定の令和6年第4回定例会において議案提出する予定としており、基本計画を含めた最終的な内容を庁内で意思決定し、デザイン化を図った上で3月末までの納品を予定しております。

総合計画の冊子が完成次第委員の皆様にお送りする予定でありますので、よろしく願いいたします。

会長 閉会にあたり、私から最後にもう一言だけ申し上げたいと思います。委員の皆様方、本当に長きにわたり熱心にご審議いただき

ありがとうございました。特に、答申書の中に情報公開を進めていくということを盛り込みましたが、これからは開かれた行政でいろんな情報が公開されていくことになろうかと思えます。

答申書の内容をもとに、門真市としては着実に行政運営を進めていただくことを強くお願いして、私からの閉会のあいさつとさせていただきます。

どうもありがとうございました。

<終了>